

保護者の方へ

研究協力に関するお知らせ

熊本県立大学総合管理学部総合管理学科「感性情報学研究室」では、令和 8～9 年度の研究の一環として、（研究参加同意者氏名）様から研究参加の同意を得て研究を実施いたします。本研究への参加は任意です。

以下の研究概要をお読みいただき、保護者様の立場からわからないことや何か心配なことがありましたら、本研究に関する連絡先までご連絡ください。

研究課題

「被災経験知に基づく避難生活 QOL 向上要因の抽出と防災リュックワークショップによる行動変容の検証」

【研究概要】

1. 目的

本研究の目的は、熊本地震等の被災経験者が持つ「経験知」を基に**インタビュー調査**を行い、長期化する避難生活での安心感や快適性、心理的負担の軽減、生活上の困難に関わる事柄について検討します。

その知見を反映した「**防災リュック**」を題材とする**ワークショップ**（防災教育手法）を実施し、参加者の防災準備意識と自己効力感、および実際の準備行動に変容をもたらすかを実証的に検証することを目指します。

2. 研究期間

令和 8 年 8 月 21 日～令和 10 年 3 月 31 日

3. 調査方法

【A：インタビュー調査】

1) 内容

- ①準備された防災アイテムを参照します。（5 分程度）
- ②防災リュックに入れて準備したいと思うアイテムを選択します。（10 分程度）
- ③これまでの被災経験をもとに、なぜそのアイテムを選んだのかを話します。（30 分程度）

2) 場所：熊本県立大学

3) 回答方法：インタビュー形式

4) 回答時間：60 分程度

5) 回収方法：インタビュー調査中にテキストデータを回収

【B：防災リュックワークショップ】

1) 内容

- ①長期化する避難生活で何が必要だったのか、被災経験者の知見を紹介し学びます。
- ②防災リュックの中身をご自身で検討してもらいます。

③作成したリュックの中身について参加者同士で発表し、自分に必要な防災アイテムをもう一度考えます。

2) 場所：熊本県立大学，熊本県内公共施設，福岡県内公共施設

3) 所要時間：60 分程度

【アンケート調査】

防災ワークショップに関するアンケート調査をワークショップの事前・事後，さらに3ヶ月後調査の3回行い，ワークショップによる行動変容の検証を行います。

具体的なワークショップの流れについては，以下の表をご覧ください。

～防災リュックワークショップの流れ～

時間	60 分/回
参加人数	15 名程度/回， 避難テント 3 張の設置を想定
実施場所	熊本県立大学，熊本県内公共施設，福岡県内公共施設
時間配分	内容
5 分	事前アンケート，趣旨説明
10 分	内容の説明，経験知紹介
30 分	防災リュック作成
10 分	発表
5 分	感想，事後アンケート

4. 個人情報の取り扱い

収集したデータは匿名化し，個人が特定されない形で取り扱います。電子データはパスワード管理された端末またはクラウド上で厳重に保管し，研究関係者以外がアクセスできないよう管理します。研究全体を通じて，個人情報保護法および関連する研究倫理指針を遵守し，参加者の人権およびプライバシー保護に十分配慮します。いつでも実験を中止できる調査環境で提供し，調査対象者の了解を得て調査を実施します。さらに，研究成果の発表に際しては，個人が特定されないよう十分に配慮します。

音声・写真・動画等を取得する場合には，利用目的および公開範囲を明示し，別途同意を得ることとします。

5. 結果の公表

この研究で得られたデータはすべて集団として統計解析を行い，学会発表や学術誌などで公表します。匿名化した形でインタビュー調査内容を公表することがあります。防災リュックワークショップで，被災経験者の話を教材として使用することがあります。

6. 利益相反

本研究に関して，開示すべき利益相反関係にある企業などはありません。

7. その他

本研究に関して学生の皆さんに費用の負担，謝金等はありません。

本研究に関する連絡先

熊本県立大学 総合管理学部

教授 石橋 賢

E-mail : kishibashi@pu-kumamoto.ac.jp

電話 : 096-383-2929 (内線 635)

以上